

コンソーシアム便り

(第3号)

平成27年7月1日

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉会長 小野祐司
(千葉県立現代産業科学館長)

平成27年5月29日、日本大学理工学部を会場として平成27年度「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉(以下コンソーシアム)・第1回総会」が開催されました。今年度のコンソーシアムに係る主な活動が新たに始まりますが、今年度はさらに充実した活動が展開できるよう、御協力をお願いします。



1

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉・第1回総会

会議内容は以下のとおりです。

(1) 報告

- ア 新任コーディネーターの紹介 齊藤 洋吉 coordinator.tec@chiba-c.ed.jp
- イ 各工業系高校の進路状況等について
- ウ スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールについて

(2) 議事

- 第1号議案 平成26年度事業報告及び会計収支決算報告について
- 第2号議案 平成27年度事業計画(案)及び会計収支予算(案)について
- 第3号議案 平成27年度会長等の選任について

(3) 協議

- ア 各校の取組について
- イ 課題研究等への支援について

御意見をいただいたので、紹介します(抜粋)。

(1) 報告イ 各工業系高校の進路状況等について

【大学】(進路未定者が)普通高校より少ないのは、(学校側の進路指導が)手厚いためだと思うが、進路未定者が全国の2%に比べて3%というのは多いのではないかと?

【高校校長】就職希望者は100%(決定している)。未定は就職以外だと思う。

【関係機関】(工業高校が)少ないからこそコンソーシアムを活用して、進路選択に関して、良い方向に向かっていけたら良いと思う。しかし、すぐに答えの出る問題でもないのが今後も検討してほしい。

報告ウ スーパー・プロフェショナル・ハイスクール(SPH)について

千葉工業高等学校が平成27年度SPHの指定を受けました。

快挙です!!

研究の概要

【研究開発課題】

社会や地域のニーズを踏まえ、産学官連携のもとに、高度な科学技術に対応した科学的思考力を有し、ものづくりを通じて課題を解決する工学的センスとグローバルに活躍できる生徒を育てるプログラムの開発

【研究開発の概要】

応用力と工学的センスを有し、工業に関する諸課題をグローバルな視点からも考えることができる生徒の育成を目指して、下記対応策を実践し、その効果を検証する。

- ①高度な科学技術に対応できる力と自発力の育成
- ②クロスカリキュラムを活用した効率的な学習カリキュラムの編成と反転授業の実践から、思考力・判断力・表現力の育成
- ③大学、企業と連携した高度先進科学・技術の学習を通して、「ものづくりの心」の視点や「工学的センス」の育成
- ④外国人博士研究員(Post Doctor)や修士学生等の協力により、グローバルな視点を身に付けさせる教育の推進
- ⑤「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を活用したインターンシップを実施することで、より生徒の目的意識、職業観、勤労観を育成

平成27年度 指定校一覧

都道府県	設置種別	学校名	実施学科
1 山形県	公立	山形県立加茂水産高等学校	水産
2 栃木県	公立	栃木県立宇都宮工業高等学校	工業
3 千葉県	公立	千葉県立千葉工業高等学校	工業
4 福井県	公立	福井県立若狭東高等学校	農業
5 岐阜県	公立	岐阜県立大垣桜高等学校	家庭
6 愛知県	公立	名古屋市立名古屋商業高等学校	商業
7 大阪府	公立	大阪市立淀商業高等学校	福祉
8 広島県	公立	広島県立庄原実業高等学校	農業
9 徳島県	公立	徳島県立徳島商業高等学校	商業
10 大分県	私立	学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校	看護

(3) 協議ア 各校の取組について

協議の中の各校の取組については、それぞれ次のような報告があった。(4 ページ別表参照)

【京葉工業】 昨年、台湾から 33 名の生徒が来校し、実習で生徒が中国語で挨拶した。

【千葉工業】 昨年度 S P P (サイエンス・パートナーシップ・プログラム) に参加。日本大学理工学部、(株) O X エンジニアリング、産業支援技術研究所、(株) 昭和電業社の協力をいただいた。

【市川工業】 11 月 28 日、総合技術コンクールが本校で行われる。日頃の成果を見て欲しい。

【清水】 太陽光を使って料理をする大会 (ソーラークッカー大会) を昨年度から日本で初めて実施。エネルギー問題に取り組んでいる。

【下 総】 自動車整備の関係で資格取得、低圧電気 (ハイブリッド) の講習会を行った。日大生産工学部の風力発電コンクールに課題研究の生徒が出て優勝した。

【東総工業】 俳句短歌を工業に取り入れている。ビブリオバトル (知的書評合戦) のようなことをやっている。

今年度、銚子電鉄と連携し、課題研究として鯛焼きの型を鋳造で作成したり、君ヶ浜駅にソーラーパネルを使った照明を設置することを検討中。

【茂原樟陽】 職員研究協議会で企業の方に来て頂きパネルディスカッションを実施した。

【館山総合】 昨年度は新日鐵住金でインターンシップを実施した。

協議イ 課題研究等への支援について

課題研究等への支援については、

【大学】 ディズニーランドとコラボレーションするなどイメージを大切にすると良い。しかし残念ながら、高校との連携は難しい (ディズニーランド側は高校生に裏側を見せたくない)。[日本大学理工学部]

【関係機関】 千葉都市モノレールへはパイプ役として協力できると思う。[千葉商工会議所]

【企業】 学校の先生に会社をみて頂きたい。この時期、地方の学校の先生は企業訪問に来ている。生徒のミスマッチを防ぐためにも見に来てほしい。生徒に自信を持って勧めて頂けるようになってほしい。そのような支援はできる。[新日鐵住金]

【関係機関】 人材育成は我慢とロマンだと思うが、(学校を取り巻く環境が) 変わってきているので、これからがコンソーシアムの見せ場だと思う。[日本工学院]

【関係機関】 出前授業によってそもそもの興味を持たせるような機会を中学生に設けた方が良い。工業高校も攻めの姿勢を大切にすると裾野が広がっていくと思う。 [中学校長会]

2

お知らせ

(1) 企業見学について

今回、企業からの工場見学の申し出に対し早速検討させていただき、7月の教職員の工場見学が実現することになりました。ご協力ありがとうございました。

(2) 中学校との連携について

中学校によっては技術科教員がない場合もあり、工業高校への出前授業の要請をいただく等、大変嬉しい申し出がありました。もし連絡をとりたい場合等には、事務局までご連絡ください。また、中学生に工業高校職員の技術を直接見てもらえるチャンスにもなります。高校側から中学校へ出向き、ニーズを把握することも一つの方法と考えられます。

別表 各校の主な取組について (3 ページ 協議ア 参照)

京葉工業	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の先生の体験授業、高大連携における科目聴講（千葉工業大学） ・特別支援学校との交流
千葉工業	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術振興機構主催によるSPPへの参加 ・大学の先生の体験授業、電業協会の出前授業と若手技術者、生徒との交流 ・小学校、保育園への出前授業、「高校生と一緒に作る科学工作講座」講師
市川工業	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携における科目聴講（千葉工業大学） ・電業協会と連携し、企業による電気科の実習の実施
清 水	<ul style="list-style-type: none"> ・電気保安協会の電気科生徒への出前授業、機械科・環境化学科で企業での実習 ・ソーラークッカー大会の参加 ・地域公民館での体験教室の実施
下 総	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県自動車整備商工組合にお願いし、ハイブリッド自動車の実車を使った「低圧電気取扱業務特別教育講習」資格取得講習の実施
東総工業	<ul style="list-style-type: none"> ・銚子電鉄とのコラボによる課題研究 ・経済同友会からの出前授業、全校生徒向け工業特別講演会の実施 ・旭市小学生ものづくり科学教室の開催、中学生向け出前授業の実施
茂原樟陽	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒向けの企業講演会、溶接協会による溶接技術講習の受講 ・NPO法人とのボランティア連携（車いすの修理等） ・中学校への出前授業
館山総合	<ul style="list-style-type: none"> ・新日鐵住金とのインターンシップ連携

【工業系高校人材育成コンソーシアム千葉事務局】

事務局長（千葉工業高校教頭）西澤 康男

TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524